

## 令和 3 年度当初予算施政方針

令和 3 年都城市議会 3 月定例会の開会に当たり、市政運営に対する基本的な考え方について、所信を申し述べますとともに、令和 3 年度当初予算の大要を御説明申し上げます。

さて、令和 2 年 1 月に中国武漢で確認された新型コロナウイルス感染症は瞬く間に全世界に広がり、世界中で多くの感染者が確認される事態となっております。

まずは、感染された方々、亡くなられた方々に対し、心からお見舞いとお悔やみを申し上げますとともに、感染された方々の一日も早い御回復をお祈りいたします。

我が国におきましても、令和 2 年 2 月以降、全国で感染が拡大し、令和 2 年 4 月と令和 3 年 1 月に緊急事態宣言が発出されました。

また、宮崎県においても、本市での感染拡大等もあり、令和 3 年 1 月 7 日に県独自の緊急事態宣言が発出されるなど、

この1年、我々は新型コロナウイルス感染症に翻弄され続けており、このウイルスとの闘いは、もうしばらく続くものと考えております。

そうした中、私は、令和2年11月の市長選挙において、市民の皆様の御負託をいただき、第5代都城市長に就任いたしました。改めてその責任の重さを強く感じており、まずは、新型コロナウイルス感染症対策について、国・県と連携して全力で取り組む所存でありますので、市民の皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、令和2年度におきましても、まず第一に、新型コロナウイルス感染症対策に対応してまいりました。

国の「特別定額給付金」の給付に当たっては、マイナンバーカードを活用したオンライン申請にいち早く取り組み、全国トップクラスのスピードで給付を行いました。

また、「がんばろう都城！事業者支援事業」、「がんばろう都城！ふるさと応援券事業」に加え、宮崎県と連携して「都城

市プレミアム付きスマイル商品券発行事業」や「新型コロナウイルス対策営業時間短縮要請協力金事業」等に取り組んできておりますが、引き続きしっかりと対応してまいります。

また、就任以来一貫して取り組んできております、“本市が持つ3つの宝”、すなわち「農林畜産業」、「地の利」、「人間力あふれる子どもたち」をより一層輝かせるための施策にも、引き続き取り組んでまいりました。

「農林畜産業」の振興では、畜舎等の施設整備を促進する国のクラスター事業を活用して、地域産業の核である畜産業の生産基盤の充実・強化を図るとともに、6次産業化の推進やスマート農業促進事業に取り組んだところであります。

「地の利」の拡大では、都城志布志道路の整備が更に進捗しており、令和3年2月27日に「有明東IC・志布志IC」間が、3月28日には「金御岳IC・末吉IC」間が開通予定であり、全区間の約7割が開通することになります。

「人間力あふれる子どもたち」の育成では、市内全ての小

中学校でエアコンが稼働するとともに、児童生徒に1人1台のパソコンを整備するなど、学校のICT化を進め、良質な学習環境の整備に取り組んでまいりました。

さらに、これらの取組に加え、「子ども・子育て支援」では、子ども医療費助成の対象を中学生まで引き上げ、子育て世代の医療費の負担軽減を図るとともに、やまのくち保育所を整備し、安全で快適な保育の実現に取り組んだところでありますが、こうした取組に対し、市民の皆様から御理解と御協力をいただいていることに改めて感謝を申し上げます。

さて、我が国経済を見ますと、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、国の令和2年度第1次・第2次補正予算の効果も相まって持ち直しの動きがみられるところであります。一方、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばであります。

こうした状況の下、政府は、感染症の拡大防止策、ポスト

コロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、防災・減災、国土強靱化など安全・安心の確保を柱とする「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」を策定した上で、令和2年度第3次補正予算を編成し、先般、成立したところであります。

本市におきましては、こうした政府の対応等も踏まえて、適時適切に様々な施策に取り組む必要があると考えており、今般編成した本市の令和3年度当初予算につきましては、まずは、新型コロナウイルス感染症対策を、国・県と更に連携してしっかりと取り組んでまいります。

その上で、新型コロナウイルス感染症収束後の未来を見据えて「デジタル化の推進」に積極的に取り組むとともに、これまで進めてきている様々な施策、具体的には、本市が持つ“3つの宝”をより一層輝かせるための各施策をはじめ、「子ども・子育て支援」、「仕事と子育ての両立支援」、「市民の健康増進」、「スポーツ・文化活動の推進」や「中心市街地の活

性化」、「地域の活性化」等の重要施策の推進に予算配分を行うとともに、「市民サービスの更なる向上」のための各施策に取り組んでまいります。

また、これらに加え、「“肉と焼酎のふるさと・都城”の対外的なPR」の更なる推進を図る各施策にも積極的に取り組んでまいります。

その一方で、行財政改革の推進による財政健全化を着実に進め、各施策への予算配分との両立を図った予算となっており、まさに、“南九州の拠点都市＝リーディングシティ”の確立と“笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城”の実現のために、新型コロナウイルス感染症収束後の本市の更なる発展を創造する予算、すなわち、「スマイルシティ都城・未来創造予算」として編成したところであります。

それでは、まず、「新型コロナウイルス感染症対策」について御説明申し上げます。

これまで、本市では、新型コロナウイルス感染症対策とし

て、「感染防止」「生活支援・事業支援」「地域経済活動の回復」  
「新しい時代への取組の推進」に取り組んでまいりましたが、  
今後もスピード感をもって、引き続きしっかりと対応してま  
いります。

こうした中、政府は新型コロナウイルスワクチンを確保し、  
今後、全国民に接種を進めていく考えですが、その接種につ  
いては、地方自治体で実施することになっております。

本市では、都城市北諸県郡医師会と連携し、市民の皆様  
に迅速にワクチン接種を行えるよう準備を進めております。

また、国の緊急事態宣言や県の飲食店に対する営業時間の  
短縮要請等に伴って落ち込んだ地域経済の回復策として、「ミ  
ートツーリズム推進事業」等に加え、「住宅リフォーム促進事  
業」を新たに実施してまいります。

次に、「デジタル化の推進」について御説明申し上げます。

政府は、令和3年9月、組織の縦割りを廃し、強力な権能  
と予算を持った国全体のデジタル化の司令塔として、デジタ

ル庁を創設することとしております。

本市におきましては、こうした動きに先んじて、令和元年8月、「都城デジタル化推進宣言」を行い、マイナンバーカードの普及促進や2千700種類を超える申請書等の押印見直し等に取り組んでまいりました。

今後、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた時、デジタル技術（ICT）は、ますます重要性を増してくるものと考えており、デジタル技術を積極的に活用して市民サービスの向上を図り、利便性が高く豊かなまちを構築してまいります。

特に、デジタル時代のインフラとなるマイナンバーカードにつきましましては、国と連携しながら、更なる普及促進に取り組んでまいります。

令和3年度においては、国のマイナポイント事業で使われた基盤を活用して、マイナンバーカードを保有する市民に対し、ポイントを給付することでキャッシュレス決済を推進し、

マイナンバーカードの普及を強力に促進してまいります。

また、多発する自然災害への対応としまして、避難者の負担軽減と避難所での情報共有の迅速化を図る、「デジタルケア避難所構築事業」に取り組んでまいります。

さらに、デジタル技術に関わりの少ない、いわゆるデジタル弱者と呼ばれる方々の不安を解消し、デジタル技術に触れていただくための講座など、様々な機会を設けてまいります。

このほか、「オンライン申請システム活用事業」、「健康増進施設利用助成券電子化事業」など、新規事業20件を含む36件のデジタル関連事業に取り組み、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化の実現に注力してまいります。

次に、本市が持つ“3つの宝”を、より一層輝かせるための各施策について御説明申し上げます。

第1の宝である「農林畜産業」の振興につきましては、市場ニーズを意識した魅力ある商品開発体制の確立等を目指した6次産業化の推進や農林畜産業の生産性向上・高品質化を

図る「スマート農業促進事業」に取り組むとともに、「肉用牛担い手農家支援事業」、「養豚生産性向上対策事業」、「次世代乳用牛育成対策事業」等に取り組んでまいります。

また、本市においても令和2年12月に発生した「高病原性鳥インフルエンザ」の防疫対策として、石灰散布機等の導入を支援する「鳥インフルエンザ等防疫対策支援事業」に新たに取り組んでまいります。

さらに、宮崎大学が設置する（仮称）畜産繁殖センターに関連し、本市に活動拠点を設けるための支援にも新たに取り組む、畜産分野での宮崎大学の知見を活かしてまいります。

このほか、森林環境譲与税を活用した事業としまして、新たに、下刈り作業の省力化を図るための実証実験を支援してまいります。

また、令和3年度は、公設地方卸売<sup>しじょう</sup>市場の関連商品売場棟が、「市場<sup>いちば</sup>の駅 セボン・チ・マルシェ」としてリニューアルオープンいたします。地場農産物の流通体制の確保とともに

市場<sup>しじょう</sup>の更なる活性化を図ってまいります。

第2の宝である「地の利」の拡大につきましては、都城志布志道路が、令和3年度末までに「乙房IC・横市IC」間の開通を予定しており、いよいよ全区間の約8割が開通することになります。

本道路の早期全線開通に向けて、引き続き整備・活用促進大会の開催など啓発活動を行うとともに、官民一体となった要望活動を行ってまいります。

また、原村今町線<sup>はらむらいままちせん</sup>（瀬之口橋<sup>せのくちはし</sup>）の側道橋整備に新たに着手するとともに、鷹尾都原線<sup>たかおみやこぼるせん</sup>、吉尾千草線<sup>よしおちぐさせん</sup>等の基幹道路の整備にも継続して取り組む一方、雇用創出や移住定住に繋がる企業立地を促進するため、都城インター工業団地桜木地区の整備も進めてまいります。

第3の宝である「人間力あふれる子どもたち」の育成につきましては、国が掲げるGIGAスクール構想に沿った小中学校のICT化を引き続き推進し、子どもたちの学習環境改

善に取り組むとともに、統合型校務支援システムを導入し、教員が児童生徒に向き合う時間を確保することで、児童生徒の学力向上を図ってまいります。

また、新たに中学校に図書館サポーターを配置することにより、既に配置している小学校と同様に児童生徒の読書環境の向上を推進するとともに、ALTによる語学指導事業を拡充し、語学力の向上と豊かな国際感覚の醸成を図ってまいります。

次に、主な重要施策について、順次、御説明申し上げます。

「子ども・子育て支援」につきましては、令和2年度に対象年齢を中学生まで引き上げた、「子ども医療費助成事業」に引き続き取り組んでまいります。

また、新たに骨髄移植等の医療行為によって、獲得していた免疫機能が失われたことにより、再度、予防接種を受ける際の費用への助成に取り組むなど、子育て世代の負担軽減と子どもの健全な成長を今後とも支援してまいります。

「仕事と子育ての両立支援」につきましては、新たに開設する病児・病後児保育施設の運営を支援するとともに、放課後児童クラブについては、2か所を新規開設するなど、子育て世代の両立支援を図ってまいります。

「市民の健康増進」につきましては、市民主体のこけないからだづくり講座の普及推進に取り組むとともに、75歳以上の後期高齢者を対象に、高齢者の虚弱状態（フレイル）になりやすい特性を踏まえた重症化予防のための介護事業にも新たに組み込んでまいります。

「スポーツ・文化活動の推進」につきましては、令和9年に延期された国民スポーツ大会宮崎大会に向けて、「県立陸上競技場」が整備される山之口運動公園や、その玄関口となる山之口駅等の整備に取り組むとともに、ソフトテニス成年男女の会場として選定されている都城運動公園のテニスコート等の整備を進めてまいります。

また、妻ヶ丘地区体育館の整備を進めるとともに、新たに

五十市地区体育館の耐震改修に取り組み、生涯スポーツの振興を図ってまいります。

また、芸術文化に触れる機会を提供するために、都城市立美術館において、40周年記念特別展「雪舟から都城」や「木梨憲武展」、都城島津伝承館において、都城県設置後150年を記念した「都城県誕生～近代都城の出発～」を開催いたします。

「中心市街地の活性化」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中心市街地の商店街等に人の流れをつくり、経済活動の活性化を図るための仕掛けとして、「都城市まちなか活性化プラン事業」を継続するとともに、まちなかへの移住を誘導する施策として、令和2年度から取り組み始めた「中心市街地居住推進事業」についても、積極的に事業を推進し、中心市街地の活性化を図ってまいります。

「地域の活性化」につきましては、平成29年度から令和2年度まで市内15地区で実施してきた「地域活性化事業」

を、令和3年度からも引き続き実施し、地域へ権限と財源を移譲することで、地域の活性化に向けた市民の皆様の自発的な取組を支援してまいります。

なお、地域活性化を進める上で重要な基盤であるまちづくり協議会の円滑な運営につきましても、継続してサポートするとともに、地域コミュニティの中核である自治公民館への支援も継続してまいります。

このほか、新たに「中山間地域対策モデル事業」としてフットパス事業に取り組み、地域資源を活用した関係人口・交流人口の拡大や地域の活性化に取り組んでまいります。

さらに、「未来の人材確保に向けた奨学金返還支援事業」にも新たに取り組み、本市出身の若者のUターン及び定住を促進してまいります。

次に、「市民サービスの更なる向上」につきましては、コンビニエンスストアで取得できる証明書の種類を増やすとともに、交付手数料を引き下げ、市民の皆様の身近なところで

の証明書交付に取り組んでまいります。

また、遺族に寄り添って死亡手続をサポートするおくやみ窓口につきましては、引き続き書類作成の負担軽減と手続時間の短縮に取り組んでまいります。

「“肉と焼酎のふるさと・都城”の対外的PR」の更なる推進につきましては、「肉と焼酎」を中心とした物産振興の拠点施設となる「道の駅都城」の再整備に引き続き取り組むとともに、令和元年度寄附件数全国1位となったふるさと納税についても、対外的なPRツールとしてこれまで以上に推進してまいります。

このほか、本市の貴重な観光資源「関之尾滝」を含む関之尾公園を「魅<sup>み</sup>せる観光地」にリニューアルする事業に引き続き取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症で大きな打撃を受けた飲食店等を応援するため、飲食店等での消費促進を目的としたデジタルスタンプラリーにも新たにに取り組んでまいります。

このほか、特色ある主な事業としましては、「妻ヶ丘地区公民館建設事業」、「山之口総合支所複合施設整備事業」、「商工会館関連事業」に新たに取組むとともに、県内初となる「学校給食費公会計化事業」にも取り組んでまいります。

令和3年度におきましては、以上のような各施策に取り組んでいくこととしており、その結果、令和3年度当初予算は、一般会計につきまして869億6千万円となり、また、特別会計、企業会計を加えた全会計では1千400億1千458万円となっております。

一般会計予算に関しまして、歳出面では、「新型コロナウイルスワクチン接種費」等が増加したこと等により、物件費が、11億5千98万円増加し141億9千131万円となりました。補助費等につきましては、「マイナポイント活用マイナンバーカード普及促進事業費」等の増加により7億2千991万4千円増加し74億4千246万9千円となっております。一方で、投資的経費は「志和池最終処分場第3期建

設事業費」や「物産振興拠点施設整備事業費」等が増加したものの、「畜産競争力強化整備事業費」等が減少し、114億2千225万4千円となりました。

歳入面では、市税につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等により前年度に比べて9億4千762万3千円減少し、179億4千197万4千円を見込んでおり、地方交付税につきましても、合併算定替の終了等により、前年度と比べて8億7千141万1千円減の148億7千291万6千円となるものの、繰入金につきましては、ふるさと応援基金繰入金、地方創生基金繰入金等の増加により、29億9千950万7千円増の138億8千715万7千円を見込んでおります。

また、新規市債発行額につきましては、臨時財政対策債の増加により、前年度に比べて8億3千705万9千円増加し、65億680万8千円となっております。

なお、令和3年度末の一般会計の市債残高見込みにつきま

しては、703億9千626万3千円となっており、合併直後の平成17年度末に比べて168億3千万円減少し、着実に財政健全化を進めております。

今後とも引き続き、行財政改革の推進等に取り組むとともに、交付税算入率がより高い地方債の活用等により、財政健全化を図ってまいります。

以上、今後の市政運営に対する基本的な考え方と令和3年度当初予算の大要について御説明いたしました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民の皆様には、外出自粛や時短要請など制約のある生活の中で、お一人おひとりが感染拡大防止対策を講じていただいておりますことに対し、改めてお礼申し上げます。

もうしばらく、新型コロナウイルスとの闘いは続くと思いますが、明けない夜はありません。これまでの歴史が物語るように、人類は必ずウイルスに打ち勝ちます。

私としては、まずは新型コロナウイルス感染症対策に全力

で取り組むとともに、コロナ収束後をしっかりと見据え、本市の更なる発展に大きく貢献する「デジタル化の推進」をはじめとする重要施策を、積極的に推進してまいります。

また、これらに加え、これまで取り組んできた、本市が持つ“3つの宝”を、より一層輝かすための各施策や、「子ども・子育て支援」をはじめとする重要施策を着実に実施していけば、本市は、新型コロナウイルス感染症を乗り越えて、新たな日常を取り戻すとともに、“南九州の拠点都市＝リーディングシティ”としての地位を確立し、“市民の笑顔があふれるまち＝スマイルシティ都城”を実現できると確信しております。

したがって、令和3年度におきましても、市民の皆様のご理解の下、初心を忘れず、これまで以上に“本気で挑戦”し、各施策を“積極的に前に進め”、本市の更なる発展のために全身全霊で取り組んでまいりますので、市民の皆様及び議員各位のより一層の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。